

自分でできることを増やしたい！ 促通法で寝たきりからの脱却！

寝たきり状態から介護負担の軽減へ

布団屋さんをされていたM・U様は、北海道のグループホームで暮らす82歳の女性です。平成15年、外出中に転び、頸椎を損傷してしまいました。

その検査中に動脈瘤が見つかり、即手術となりました。手術後は歩行器を使えば歩ける状態まで回復しましたが、平成26年1月に脳幹梗塞を患い、入院。病院で長く安静にしていた為、退院後は寝返りも出来ない寝たきり状態になってしまいました。

また、脳幹梗塞の後遺症で右手足の麻痺も残りました。介護士の介助量が格段に増えたため、当社の医療マッサージを受けることになりました。当初、M・U様は、もう動くことはできないと思ひ込んでいらつしやいましたが、めきめき状態が改善し、マッサージ師の指導により、1ヶ月ほどで寝返りがうてるようになりました。

今回は、促通法という手法を中心に施術をし、施術を行うたびに動きにも変化がみられたので、都度効果を実感して頂き、施術開始3ヶ月で立ち上がり運動ができるまでになりました。介助の負担も徐々に減って行き、1人で出来ることが増え、笑顔が増えました。

M・U様は明るく負けず嫌いの性格なので、動けることを認識され、もっと良くなりたいという気持ちがあることでの回復を可能にしたのだと思います。初期の目標を早い段階で達成することが出来たため、現在では歩くという目標に向かって日々施術を続けております。

促通法で脳梗塞後遺症による片麻痺がみるみる回復！



札幌営業所 所長 梶野 亮司

今回のケースは、脳幹梗塞の後遺症で右手足が麻痺してしまった方が、マッサージや運動練習によって、身体の動きが短期間に向上した経緯に焦点をあてた事例です。



立ち上がり運動



肩の促通法

【初期目標】
 体の筋力をつけ、寝返りをうてるようになる
 立位を安定させる

【中期目標】

立位の保持向上、自力で移乗動作を可能
 トイレ介助を少なくする

【長期目標】

車イスでの自走、介助なしでトイレに行く

【施術内容】

〈初期施術〉

臥位 マッサージ、ストレッチ、促通法

座位 マッサージ、促通法

端座位 マッサージ、促通法

〈現在施術〉

臥位 マッサージ、ストレッチ、促通法

座位 マッサージ、促通法

端座位 マッサージ、促通法

立位 バランス練習、促通法

ご利用者情報

ご利用者：M・U様(82歳・女性)

傷病名：脳梗塞、第4腰椎圧迫骨折

初期目標である寝返りをうてるようになり、立位という希望は非常に早く達成することが出来ました。

促通法を中心に施術を行ったところ、毎回窺うたびに出来る動作が増えていきました。現在も促通法を取り入れながら、立位のバランスを練習したり、関節の柔軟性を向上する運動などを行っております。今後は歩きたいという目標に向かって施術を行う予定です。



山崎 伸也 施術師

標に向かって施術を行う予定です。

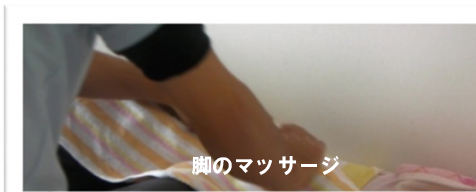
ご家族の声

施術前は寝返りも打てないくらいの寝たきり状態でしたが、1ヶ月ほどで寝たきりから脱却できました。

また、立位が安定したのでトイレ介助が2人から1人に。さらに、車イスからベッドの移乗が1人で出来るようになりました。体操やレクリエーションにも参加するようになり、外出への意欲が出てきました。笑顔や笑いが増え、とても嬉しく感じています。

ケアマネジャー様の声

マッサージサービス以降、手足の動きが良くなりました。介助で車イスへ移る際、足を高く上げ移動することができるようになりました。ご本人も効果を感じられているようで、マッサージを受けることに積極的です。



足のマッサージ



手の促通



股関節の運動



足の促通法



背中へのマッサージ